令和５年度　国語科　授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・話の内容を捉え、適切に質問すること ・自分の考えが伝わるように書くこと ・小学校で学習した漢字を正しく読んだり書いたりすること ・情報と情報の関係について理解して、整理すること	・話題や中心の内容を適切に聞き取る力 ・自分の思いや考えを表現する力 ・日常生活に活用できる基礎的な言語感覚 ・情報を整理したり活用したりする力	・インタビューの活動を取り入れ、話を聞き質問する力を向上させる ・感想を書くときに使う言葉の一覧を提示して、言語環境を豊かにする ・漢字テストを実施する中で、漢字の成り立ちや意味を考えさせる指導をする ・調べたことを発表する場を設定し、目的に合わせて情報を収集する力を高める
第2学年	・文節を適切に分けたり、文の成分を捉えたりすること ・複数の情報の中から必要な情報に着目して、内容を捉えること ・自分の考えを相手に伝わりやすいように工夫して書くこと	・文法を適切に理解して、自分の思いや考えを表現する力 ・情報を整理したり活用したりする力 ・構成を工夫して自分の考えを表現する力	・文法の授業以外にも、文節や主語・述語について扱い、繰り返し指導する ・新聞記事を活用し、キーワードに注目して情報をまとめる指導を充実させる ・二段落構成や字数などの条件を意識して書くことやよりよい表現を真似して書くことを通して、言語感覚を磨く
第3学年	・話の方向性を捉えて中心の内容を聞き取ることや効果的な質問をすること ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すこと ・構成を工夫して、相手に伝わりやすい文章を書くこと ・主題を捉えながら、文章の要旨を読み取ること	・話題や中心の内容を適切に聞き取る力 ・古典の基礎的な知識 ・構成を工夫して自分の考えを表現する力 ・論理的な読解力や思考力	・話合い活動の場を多く設定し、話し合いによって課題解決を図る力を高める ・歴史的仮名遣いに注意して古文を読む指導を充実させる ・１人１台端末を活用し、段落ごとの文章構成上の役割を短冊化してから文章を書くなど、苦手な生徒でも主体的に取り組める教材開発をする ・繰り返し出てくる言葉に線を引いて読ませる

令和５年度　社会科　授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・小学校の既習事項の理解・定着が十分ではないこと ・資料から正確に情報を読み取る力や複数の資料を関連付けて考察する力を身に付けること	・既習事項について理解するとともに、情報を調べまとめる技能 ・社会的な事象について多面的・多角的に考察する力	・単元テストを定期的に実施して理解度を確認し、基礎的な知識･技能の定着を図る ・正確に情報を読み取る練習をさせたり、読み取った情報に対する自分の考えを表現させたりする ・発問等を工夫したり、デジタル教材等を活用したりする
第2学年	・基礎的な知識・技能の定着 ・複数の資料を読み取り、社会的事象と関連付けて考察し、表現する力を身に付けること	・既習事項について理解するとともに、情報を効果的に調べまとめる技能 ・社会的な事象について考察し、それを基に社会の課題解決に向けて選択・判断したり、説明したりする力	・単元テスト、単元の振り返りを基に、基礎的な知識･技能の整理をさせ、定着を図る ・自分の考えを伝える活動や話し合う活動を多く設定し、様々な考えに触れさせる ・発問等を工夫したり、デジタル教材等を活用したりする
第3学年	・基礎的な知識・技能の定着 ・資料から情報を読み取り、それを受けた自分の考えを書いたり､話したりすること	・既習事項について理解するとともに、調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能 ・社会的な事象について多面的・多角的に考察したことを基に、議論する力	・単元テスト、単元の振り返りを基に、基礎的な知識･技能についての反復学習に取り組ませ、定着を図る ・自分の考えを伝える活動や話し合う活動を多く設定し、様々な考えに触れさせる ・発問等を工夫したり、様々な資料を提示したりして、社会の出来事と学習内容と関連付けながら、学習に取り組ませる

令和５年度　数学科　授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・授業に意欲的に取り組む生徒は多く、授業中の態度については概ね良好である ◯ 台東区総合学力調査の結果において ・ほとんどの項目で目標値を下回っている ・基礎的な部分である「整数の性質」や「小数・分数の計算」で目標値を大きく下回っている ・正答率３０％未満の生徒の割合は７．５％であった	・基本的な計算力（小数・分数など） ・生徒が考えや説明を言語化するなどの思考力・判断力・表現力の育成	(全)学力格差解消加配教員が中心となり、学力調査や各考査、小テスト等の分析を行い、クラス編成を行ったり、教材を作成したりして、個に応じた指導を行う (全)学力向上推進ティーチャーと連携し、理解度に応じて個別指導を行う ・小テストや単元テストを通じて学習状況を把握していく ・数学の学習に楽しく取り組めるよう、工夫された反復練習に取り組ませ、学習内容の定着を図る ・繰り返し学習できる課題を出し、家庭学習の習慣を身に付けさせる
第2学年	◯ 台東区総合学力調査の結果において ・基礎的な知識・技能についてはある程度定着してきているが、活用問題の正答率が目標値よりも低い ・正負の数、比例・反比例、データの分析の傾向の正答率が目標値よりも低い ・「比例のグラフをかく」、「度数折れ線から読み取った傾向をもとに説明する」問題の無解答が多い	・計算力向上を含む、基礎的な知識・技能 ・思考力・説明するなどの表現力	・グループ学習の時間を設定し、説明する力の向上を図る ・家庭学習を定着させるために、繰り返し取り組める基礎的な課題を出す ・小テストや単元テストを実施し、基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、発展的な問題に慣れさせる
第3学年	・継続的な学習による基礎的な技能・知識の定着 ◯ 全国学力・学習状況調査において ・数学的思考を必要とする問題に苦手意識があり、「４の倍数になることを説明する」問題の正答率が低かった ・関数に対する苦手意識が強く、グラフを活用する問題などの正答率が低かった	・基礎的な知識・技能 ・定着した知識・技能を活用して応用問題やある事象について説明する問題に取り組む力	・単元毎に小テストや単元テストを行い、定期考査までに再度見直しを行わせるようにする ・「自ら考える」ことを重視し、解き方を覚えるのではなく、思考力が身に付くような学習活動を実施する

令和５年度　理科　授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・基礎的な知識・技能を活用して、応用問題や記述形式の問題を解くこと ・応用問題、記述問題の無解答が多いこと	・自然現象に対する概念や原理・法則の基本的な理解 ・科学的な根拠に基づき判断する力 ・課題解決に向け、粘り強く挑戦する態度 ・得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する力	・学力向上推進ティーチャーと連携し、実験・観察などに関する技能を身に付けさせ、結果をもとに考察を記述させる ・小テスト、単元テストを実施したり、１人1台端末のドリルに取り組ませたりして、基礎的な知識・技能の定着を図る ・記述については、キーワードなどを提示して記述しやすいように工夫したり、グループ活動を取り入れ、他者の意見を参考にしたりできるようにする
第2学年	・密度、体積、質量などの用語、状態変化における物質の変化について推測し、記述する問いの無解答が多いこと ・大地の変化、地層に関係する問いの正答率が低く、記述問題の無解答が多いこと	・自然現象に対する概念や原理・法則の基本的な理解 ・自然の事物・現象を通して「多様性と共通性」の視点で捉える力及び「時間的・空間的」な視点で捉える力 ・課題解決に向け、粘り強く挑戦する態度 ・得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する力	・学力向上推進ティーチャーと連携して準備し、観察・実験を中心とした授業を多く取り入れる ・観察・実験の考察や自然の事物・現象について言葉で表現する活動に取り組ませる ・小テスト、単元テストを実施したり、１人1台端末のドリルに取り組ませたりして、基礎的な知識・技能の定着を図る ・記述については、キーワードなどを提示して、記述しやすいように工夫する
第3学年	・基礎的な知識・技能を活用して、応用問題や記述形式の問題を解くこと ・記述問題の無回答が多いこと	・自然現象に対する概念や原理・法則の基本的な理解 ・課題解決に向け、粘り強く挑戦する態度 ・得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する力	・学力向上推進ティーチャーと連携し、生徒の習熟度に合わせて、個に応じた指導を行う ・授業において、生徒の理解度の差を踏まえ、課題を明確にしたり、課題設定を工夫したりする ・小テスト、単元テストを実施したり、１人１台端末のドリルに取り組ませたりして、基礎的な知識・技能の定着を図る

令和５年度　英語科　授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・身近な事柄についての英文を聞き、その内容を理解すること ・基本的な英文の語順を理解すること ・例文を参考にしながら、身近な事柄について、英文を書くこと	・日常で使用される外来語をはじめとした英単語を聞き取る力 ・主語＋動詞＋目的語の語順を基本とした英文の形を理解する力 ・身近な事柄を、まとまりのある内容でいくつかの英文で書く力	・英語を耳にするだけでなく、発話したり聞き取りドリルやテストを定期的に実施したりし、言語環境を充実させる ・語順ドリルに取り組む機会を増やし、反復練習を通して身に付けさせる ・モデルとなる文例に多く触れさせ、英文作成への抵抗感を低減させる
第2学年	・語彙力を増やし、英単語や文法事項を理解し、使える表現を増やすこと ・英語の発音や音を意識し、正しい発音で英語を話すこと ・まとまりのある英文を読んで、内容を理解すること	・正しく英単語を綴り、正しい文法を意識して英文の構造を理解し、書く力 ・英語の発音やアクセント、つながりを意識して読んだり、話したりする力 ・まとまりのある英文を読んで、必要な情報を読み取る力	・単語テスト、英文を書く作業を増やし、正しく書くことを意識させる ・音読練習の際に１人１台端末を活用したり、個別指導を行ったりしながら、正しい発音で英語を話せるようにする ・帯活動でまとまりのある英文を読みながら、長文読解のポイントを習得させる
第3学年	・自分が置かれた状況などから判断し、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりすること ・文法事項に沿い、正確に英文を書くこと ・事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書くこと	・まとまった英語を聞く、読むことを通して、必要とする部分を判断し、情報をつかむ力 ・語順や構造を理解し、表現する力 ・事実や自分の考えを、まとまりのある文で表現する力	・ある程度分量のある英文や、文章を聞かせる、読ませる等の活動を行い、ポイントとなる部分をつかませる ・既習事項の復習を、書く活動を通して繰り返し行う ・教科書の本文を使い、まとまりのある文章を書く機会を増やす